

雨の降り方と災害発生の目安 Type and Strength of Rainfall, Guide When Disaster Strikes 降雨强度和情况、灾害发生的标准 비의 강도와 내리는 형태, 재해발생의 기준

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば、避難などの準備をしたり自主的に避難することも大切です。〔雨量は1時間雨量（ミリ）〕

<p>10~20ミリ やや強い雨</p> <p>ザーザーと降る</p> <p>この程度の雨でも長く続くとときは注意が必要。</p>	<p>20~30ミリ 強い雨</p> <p>どしゃ降り</p> <p>側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のけがれが発生するおそれがある。</p>	<p>30~50ミリ 激しい雨</p> <p>バケツをひっくり返したように降る</p> <p>山崩れ・けがれ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。</p>	<p>50~80ミリ 非常に激しい雨</p> <p>滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）</p> <p>マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生するおそれがある。</p>	<p>80ミリ 猛烈な雨</p> <p>息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる</p> <p>雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。</p>
--------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

気象情報の種類と発表基準 Types of Weather Information and Announcement Criteria 气象信息的种类和发布标准 기상정보의 종류와 발표기준

特別警報が発表されたら、「ただちに、命を守るための行動をとる」

注意報	災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。
警報	重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。
特別警報	警報発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合。

●大阪管区气象台が発表する主な警報の発表基準(大東市)

警報	大雨(浸水害)	1時間雨量40mmあるいは3時間雨量80mm
	大雨(土砂災害)	(土壌雨量指数基準) 136
	洪水	1時間雨量40mmあるいは3時間雨量80mm
	指定河川洪水予報による基準	淀川[枚方]、淀川水系寝屋川流域[寝屋川治水緑地(寝屋川水位)・京橋・昭明橋・恩智川治水緑地(恩地川水位)・住道・太子橋・剣橋・今里大橋・桑才・萱振大橋]
	暴風	平均風速20m/s
特別警報	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の熱帯低気圧により大雨になると予想される場合
	暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の熱帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

●雨に関する大東市の50年に一度の値

48時間(2日間)の降水量	369mm
3時間の降水量	163mm

●記録的短時間大雨情報の発表基準

大阪府	100mm/h
-----	---------

●防災気象情報の段階的な発表

気象台が発表する気象情報	発令時の状況
大雨注意報	大雨による災害のおそれが予想される場合に発表。警報になる可能性がある場合はその旨記述します。
大雨警報(浸水害)	大雨による重大な災害のおそれが予想される場合に発表。雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などを示します。
大雨特別警報	重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表します。

■警報の種類と概要

種類	予想される重大な被害	概要
大雨警報	山がけ崩れ、土石流、地滑り、家屋の流失や浸水、道路や耕地の浸水や冠水、陸上交通の障害等	大雨による重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。大雨警報には、大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)、大雨警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項を明記します。
洪水警報	家屋の流失や浸水、道路や耕地の浸水や冠水、陸上交通の障害等	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
暴風警報	家屋の損壊、農作物の損傷や落果、停電、陸上・海上・空の交通障害等	暴風により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。

■特別警報の概要

種類	概要
大雨特別警報	大雨が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。大雨特別警報には、大雨特別警報(土砂災害)、大雨特別警報(浸水害)、大雨特別警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項を明記します。

●危険を感じたら早めに避難しましょう

市では、市内の公共施設等を避難所施設としており、本防災マップP19~P21と市ホームページに一覧表を掲載しております。普段から最寄りの避難所を確認し、また、実際に避難経路を歩いて確認しておいてください。

また、実際に災害時に避難をされる時は、警察や消防団、自主防災組織等の誘導、指示に従って、動きやすい服装で最寄りの避難所へ避難してください。その際、自宅の電気・ガスの火元を確認し、避難途中でも浸水の危険がありますので、周囲には十分注意してください。暴風雨の夜間や道路冠水時など避難経路上の危険個所の把握ができない場合等、どうしても避難行動が困難な場合は、指定避難所への移動は避け、自宅などの2階以上に緊急避難してください。

要配慮者の避難にご協力を!

介護を要するお年寄りや障害のある人は、特に早めの避難が必要となります。そこで、皆さんの地域にお住まいの災害時に避難行動に支援を要する方々の避難については、地域みんなでご協力し合い、安否の確認や呼びかけなどの手助けをしましょう。また要配慮者の避難がスムーズに行えるよう、日頃からの声かけや状態の把握など、地域ぐるみのご協力をお願いします。